

2025年5月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	△12.7	大 宮 店	△6.5
堺 店	△3.9	柏 店	※2 +3.9
京 都 店	※1 △15.0	E C 店	+12.4
泉 北 店	△0.7	(株)高島屋各店計	△6.4
日 本 橋 店	+2.0	岡 山 高 島 屋	△4.0
横 浜 店	△2.7	高 崎 高 島 屋	△0.7
新 宿 店	△8.3	国 内 百 貨 店 計	△7.6
玉 川 店	+3.9	国 内 百 貨 店 既 存 店 計	※3 △6.2

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

※3 2024年7月に営業を終了した岐阜高島屋の前年実績を控除しています。

■ 概況

○前年比(※既存店対比)におきましては、店頭売上高△7.6%(※△6.2%)、免税売上高△41.7%、免税を除いた店頭売上高+0.3%(※+2.2%)となりました。

○国内顧客は、食料品の新規催事等が堅調に推移したこともあり、前年実績を上回りました。

インバウンド顧客について、スポーツ用品や子供服は前年からプラスとなりましたが、ラグジュアリーブランドをはじめとする高額品がマイナスとなった影響が大きく、前年実績を下回り、店頭売上高全体を押し下げました。

○店舗別売上高は、日本橋店、玉川店、柏店、EC店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類)は、子供情報ホビー、スポーツ、食料品、食堂、サービスが前年実績を上回りました。

以 上